



2022年8月3日

各 位

会 社 名 株式会社 A S I A N S T A R  
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 吳 文 偉  
 (コード：8946 東証スタンダード市場)  
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 木 下 美 里  
 T E L (045) 324-2444 (代表)

2022年12月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正  
 (2022年1月1日~2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,338	104	104	80	4.21
今回修正予想 (B)	1,024	△44	△47	△62	△3.24
増 減 額 (B-A)	△314	△148	△152	△143	
増 減 率 (%)	△23.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 2021年12月期 第2四半期累計期間 ※注	1,637	58	64	45	2.38

注) 企業結合に係る暫定的な会計処理を2021年12月期第3四半期で確定したため、前年第2四半期累計期間の数値を修正しています。

2. 修正の理由

2022年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、当初見込んでいた販売用不動産の売却が上期中に完了しなかったこと、新型コロナウイルス感染拡大を受け中国国内のゼロコロナ政策に伴い上海市がロックダウンしたことで当社子会社の稼働及び事業遂行が著しく制限を受けたこと等により、連結売上高が当初の予想を下回る見込みであります。費用につきましては、国内の費用は削減の見直しを図ったものの、中国子会社については売上創出が出来ないロックダウン期間中においても人件費・事務所費用の維持費用等が発生したことから、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益がともに当初予想を下回り、損失計上に転じる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、上期に完了しなかった販売用不動産の販売を下期に予定していること、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念などの先行き不透明な状況であること等を踏まえ、現時点においては前回予想を据え置くことといたします。今後の業績動向を慎重に精査し、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上